

FUJIFILM SQUARE

「日・欧巡礼の道」展
日本編 / 熊野古道

Road of Sanctuary Kumano

写真・南川三治郎

2008.6.6(金) ▶ 2008.6.30(月) 11:00-20:00

入場無料





南川三治郎

みなみかわ・さんじろう

1945年三重県生まれ。東京写真大学（現東京工芸大学）卒業後、大宅壮一東京マスコミ塾・第一期出塾。パリを拠点にヨーロッパの「人と文化」に焦点を当て取材活動をするフォトグラフィック・ライター。現在はパリと東京を年に数回往復し、旺盛な取材活動を展開している。80年日本写真協会新人賞受賞。86年日本写真協会年度賞受賞。93年にオーストリア政府観光局より名誉勲章ゴールド章受賞。1980、85、87、92年、2004年に富士フォトサロン（銀座）で個展を開催。



撮影に使用したカメラは、アメリカ製大判カメラ「ディアドルフ8×20」に手を加えたもので、世界に1台しかありません。フィルムは通常の120倍の面積のある200X505ミリの特殊仕様。これを使い、古の匠たちが創った美の瞬間に肉薄し、古くから営々と続く熊野の原風景を現代に蘇らせたかったのです。

熊野古道は、神話の時代から神々が鎮まる特別な地域と考えられた紀伊山地に位置し、かつては厚い信仰の道として多くの参詣者、巡礼者を集めていました。



歴史の流れとともに、多くは国道や県道に整備され、大きく姿を変えてしまいましたが、一部には、難所



ゆえに開発の波から逃れ、当時のままの美しい石畳や景観が残っており、2004年に、「紀伊山地の霊場と参詣道」として、ユネスコの世界遺産に登録されました。

今なお残る、熊野古道の美しい自然や風景、寺社の国宝や重要文化財の神・仏像、祭りやその他の行事など、熊野周辺地域の文化と歴史を、写真家 南川三治郎氏の柔軟な感性により切り取られた作品を通してご堪能ください。

助成：財団法人岡田文化財団

